

活動報告

用件	羽田街道おもてなし清掃(44回)	日時	2019年11月3日 8:15-10:30
場所	湾岸道路(野鳥公園～大田市場)沿	記入	2019年11月4日 縄田良作
参加	54人(内、初5) ㈱アライズさん約10人、青年塾約10人		



(時間)8:15-10:10 開会・掃除・閉会・解散  
 -10:30 運搬・ゴミ捨・道具・清掃  
 (配員)①約4②14③10④6⑤9 野鳥5他6  
 (道具)

リヤカー	1
猫車	1
竹ホウキ	6
緑ホウキ	2
手箕	6
くま手	0
ちり取り	2
スコップ(丸)	4
草刈鎌	4
トンブ	4



・(ゴミ)可燃15 資源7(缶4 ペット2 瓶1)袋

【全般】

- (1)市場西門前 この数か月でかなりきれいになった。通行者に快適に感じてもらえる嬉しい。
- (2)土の除去 ④班の分離帯に積もった大量の土砂、3か月にしてまだ終わらず。
- (3)広げる 東京五輪後の活動維持のために、地元の方への働きかけをしたい。

②③【西門前】



④【中央分離帯】



- ・最注力箇所。青果・花き取扱量で日本最大の大田市場。ここに入出入りする皆さまの心が少しでもなごめば・・・かわいい子どもさんもお手伝い。
- ・電動バリカン持参の人が植込みを剪定すると、見違えるようになった。
- ・この数か月で都心と遜色のないほどキレイになった。翌月また汚れているが・・・

- ・9月2人、10月3人、今月6人。
- ・交差点の中、車が巻き上げた土砂が積もり積もってトンレベル？ 何十年もかけてできた堆積だろう

【感想発表】 [区域]

- ・[②] リーダーの始めのシンプルな説明は、的確で勉強になった。他の場所でも活かせることを学べて有り難かった。皆さん温かく接してくれて、分担したらあっという間に終わった。できる時に参加したい。(千葉)
- ・[③] 初参加です。少しの時間掃除ただけで、すごいゴミが出てビックリした。きれいになって良かった。
- ・[④] 初参加。いろいろ発見があった。中央分離帯に山のようにあった土が、役割分担して除去したらきれいにさばけた。世話役が自転車ですら巡回するのを見て、適切なやり方や役割分担は大事だと思った。
- ・[⑥] 車道脇のゴミを拾った。車の通りも多く、安全に気をつけた。落葉が多くなると道具を考えたい。

## 【資料】

## ●大田区役所 担当課御中

(申請案文)

## 東京モノレール「流通センター」前の放置自転車撤去のお願い

私たちは、羽田空港から都心に向かう 357 号沿線の清掃活動を行っているボランティア団体です。

上記駅前の、大田市場方面に向かう一角の周囲に、長期間多くの自転車が放置され、その買物かごにはペット、空缶から、ビニール傘、段ボール箱など色んなものが突っ込まれ、ここからこぼれ落ちているごみを、私たちは毎月清掃しております。この状態は、次のごみを捨てる人を誘い、多くの通行者に不快な思いをさせ、心を荒ませる社会悪だと思います。撤去をお願い致します。

8月4日 18台			<p>(参考)【割れた窓理論】</p> <p>割れた窓を放置すると、やがて他の窓も割られる。すると一帯に「ここでは何でも許される」という無法状態のサインを発する。崩壊寸前だったニューヨーク地下鉄は、この理論を採用して大きな効果を上げた。</p> <p>1982年犯罪学者 J・ウィルソンと J・ケリングが「割れた窓理論」発表。</p> <p>1984年デビッド・ガンがNY地下鉄総裁に就任、「落書きは地下鉄崩壊の象徴」として落書き消しを、そして無賃乗車を徹底的に取り締まった。</p> <p>1994年就任したジュリアーニNY市長は、警察官を大幅増員し、泥酔、放尿、ポイ捨てなどの軽犯罪を徹底的に取り締まった結果、殺人や婦女暴行などの重大犯罪は劇的に減少した。</p>
9月1日 17台			
10月6日 23台			
11月3日 21台			

## ●「一人の百歩より百人の一步」 「伝える」

## ○「お礼とお願い」 鍵山秀三郎 『清風掃々』33号

何事も、最初に何かを「始める」ということは大変なことなんです。何もないところからの第一歩なわけですから。そして一步踏み出してみると、そう大変でもないと思ってもみますが、「継続」となると大変なわけです。

さらに大変なことがあるんです。それは、人に「伝える」ということです。この会の意義であり、この活動が国家に駅があるということ伝えていって頂きたい。高橋佳子先生は「自分が努力して、たとえ伝わらなくても伝え続けていきなさい。自分の心や気持ちが届かなくても届け続けていきなさい」と仰っております。

たとえ伝わらなくても伝え続け、たとえ届かなくても届け続ける。すると必ずいつか、伝わり届くときがあるという教えです。ぜひ皆様には、日々の活動にプラスして、次の世代の人たちに伝えて頂きたい、「伝える」「届ける」を、意識して取り組んで頂きたいと思います。これが私からのお願いです。

## ○啓発キャラバン 世話人 縄田良作

私が今危機感を持っているのは、東京五輪後のことです。あれほど汚れていたこの街道が、この3年半でかなりきれいになりました。しかし、翌月は再び汚れて、「一步後退、一.五步前進」です。しかし、東京五輪後も遠方からの皆さまのご奉仕に期待することには厳しいものがあります。地元の方のご参加が欲しいです。

地元の、企業、団体などへの啓発キャラバンを提案します。一緒にやって頂ける方を募集します。